

# 「志を立てて、以て万事の源となす」

## 講演「はみ出す覚悟が世の中を変える！」

-救急車 iPad、ドクターヘリ、ドローン・ロボット活用から宇宙への挑戦-

宇宙公務員 (JAXA、佐賀県庁) 円城寺 雄介 氏

危機管理では答えのないことをやっていく必要があり、イノベーションの分野で立ち遅れている日本の現状では、自ら考えて動くことが重要となる。佐賀県職員として救急医療の現場に配属され、課題が山積する状況に直面したとき、たった一つだけでも変えていこうと覚悟を決め、困難に一つずつ取り組んだことで、救急車での搬送時間の短縮など、救急医療の改革を実現できた。

「変化」は「中央」からは起こらない。地域や現場に生きる人間こそが社会を変えることができる。我々公務員こそが社会の課題を先に見つけ、解決していくことで、皆に楽してもらおう「先憂後楽」の発想で社会を変えていけるとよい。



### ◆ 改革に向けて ~ 10 のキーワード ~ ◆

- 1 歴史に学ぶ先人たちの知恵
- 2 現場主義
- 3 なされるべきことを考える
- 4 やると決める
- 5 批判を助言に変える
- 6 情報を見える化する
- 7 現場が楽しく・使いやすく
- 8 アイデアは独占せず広げる
- 9 何のために、誰のためにやるの？
- 10 やると決めたら、必ずできる

### 塾生からの声

- やると決めたらできる。ということに心動かされました。今の職務の中でも自分にはできないと思い込んでいることが多々あります。そうではなく、まずやると決めること、そしてそのために行動することを実践していきたいです。
- 県内の全救急車にiPadを配備した話や、ドクターヘリを導入した話がありました。これらの話は、職場の中で現状を当たり前と決めつけず、よりよいものになるために工夫をしていく意識の向上に役立ちました。
- 日々の業務をこなしていきながら、さらにその先にある人の願いに応えるために、自ら目標をもって様々なアイデアを出しながら新たな道をつくってこられたことに私自身も何か子どもたちのためにやりたいという思いがわきました。

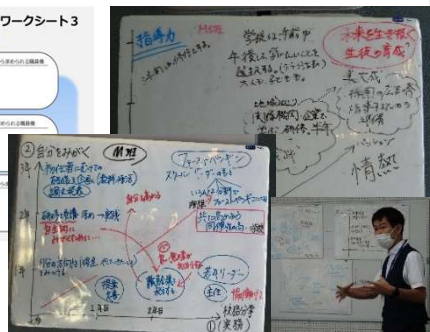
## 企画・運営研修「開 (KAI)」

「熟議 目指す職員像を語り合おう！！」

教育センター 指導主事 大村 高敏



- ▶ 目指す職員像を考える
- ▶ 若年教員の人材育成 中期ビジョンを作ろう



### 塾生からの声

- 午後の開研修で、若年者・ミドルリーダー・ベテランが身に付けるべき資質・能力を考えたときに、今の自分が置かれている立場や役割だけでなく、初任者への接し方、10年後の自分のあるべき姿まで客観的に捉えることができました。それの一つでも多く現場の先生方と共有していきたいと思っています。
- 目標達成に向けて、2軸の座標を定め、段階的に何を頑張るのかをはっきり示すことの有用性を体験することができました。生徒を指導する際にもこの方法はすぐにも使ってみてみたいと思いました。
- 午後からの研修での「理想の学校像」を考え協議していくことで、午前中の話の中にあつた改革という面での新しいことに挑戦するという視点で考えることができました。これは、理想でありながらも2学期の実践に繋ぐ必要があると感じました。特に若年教員の数年後を意識した声かけや研修が必要だと感じました。

令和4年度福岡教師塾 (第5回)

令和4年8月26日 (金) 実施

福岡県教育センター